

令和3年度第1回山口県食の安心・安全審議会における意見等への回答

議題

- (1) 会長・副会長選任
- (2) 山口県食の安心・安全推進基本計画(第2次改定版)の取組状況について ……資料1
- (3) 令和3年度6月補正予算新規事業について ……資料2
- (4) 山口県食の安心・安全推進基本計画(第2次改定版)の改定に向けた検討について ……資料3
- (5) 見直しが必要な指標や目標値の洗い出しについて ……資料4

【議題(1) 会長・副会長選任】

次のとおり、承認されました。

役職	委員氏名	団体・所属機関等
会長	藤田 健	山口大学経済学部 准教授
副会長	岩崎 美穂	山口県消費者団体連絡協議会 事務局長 (生活協同組合コープやまぐち 常任理事)

【議題（２）資料１：山口県食の安心・安全推進基本計画(第２次改定版)の取組状況への御意見等】

委員意見等	回答等
<p>岩崎喜美子委員（公募） 【３ページ：HACCP手法の導入支援について】 HACCP支援事業者が格段に上がっているのに安心感があります。</p>	<p>これまで県では、HACCPの義務化に向けた食品等事業者の取組支援に努めてきたところです。 今後とも委員の皆様の御意見を十分お聞きしながらHACCPに沿った衛生管理が適切に運用されるよう取り組んでまいります。</p>
<p>岩崎美穂委員（山口県消費者団体連協議会 事務局長） 【13ページ：地産・地消応援団「#ぶちうま100」による情報発信について】 13ページの地産・地消応援団「#ぶちうま100」による情報発信について、スタートして2か月経ちますが、反応などはありましたか。</p>	<p>7月1日より、「#ぶちうま100」の応援団員から、旬の食材等の情報がSNS上で頻繁に紹介されています。多い人は、月に50回以上発信するなど、応援団の機運の醸成も図られました。 【参考】「#ぶちうま100」の投稿数:7月969件、8月912件 計1,881件(2か月間)</p>
<p>河村昌子委員（公募） 【6ページ：食品検査の実施について】 基準値を超えた食品が店舗に並んでいることに大変な不安、不信を抱きます。出荷前の検査をする方法はないのでしょうか。もっと検査をすべきではないかと思えます。</p>	<p>流通する食品の状況確認と違反食品の排除を図るため、県では、店頭や製造所から食品を収去し、検査を行い、その結果を公表しています。 違反食品の排除を徹底するために、収去検査を充実させようとする、全ての食品を検査することに行きついてしまいます。この手法には、食品の流通を阻害し、膨大な検査費用が必要となるなど、多くの課題があります。 一方、食品等事業者は、食の安心・安全について一義的責任を有しており、食品衛生法が改正され、全ての食品等事業者は、HACCPに沿った衛生管理に取り組むこととなりました。 HACCPは、問題のある食品が製造されることを未然に防ぐ衛生管理手法であることから、食品等事業者が、しっかりとHACCPに取り組み、行政は、事業者が適切に取り組んでいるかを監視・指導することがより重要となっていきます。 こうした食を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後とも委員の皆様の御意見を十分お聞きしながら、食品検査のあり方について検討してまいります。</p>

<p>渡邊朝子委員（山口県立大学看護栄養学部 教授）</p> <p>【4ページ：飼料の製造、販売業者への立入検査について】</p> <p>検査内容、検査結果を教えてください。</p> <p>農家が衛生管理基準に基づいて飼養されていても、飼料の安全が確保できないと食の安全を担保することは難しいと思われます。</p>	<p>「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」及び「反すう動物用飼料への動物由来たん白質の混入防止に関するガイドライン」に基づき、製造・販売帳簿の記載、飼料の適正表示、飼料の保管状況、管理体制等の検査を行っています。</p> <p>令和2年度は製造業者5件、販売業者17件で遵守状況等を検査したところ、違反は確認されませんでした。</p> <p>今後も確実に検査を実施し、飼料の安全性確保に努めます。</p>
<p>【5ページ：食中毒発生件数について】</p> <p>食中毒事件が減少していることについて、コロナ禍にあり多くの事業所で衛生対策が行き届いている結果だと思えます。さらなる安心・安全に向け、検査体制の充実、人員増をお願いします。</p>	<p>今後とも、より効果的・効率的な監視指導に努めます。</p>
<p>【7ページ：「食品表示責任者」養成講習会について】</p> <p>資料概要説明書において、「表示責任者」養成講習会への参加率が低い職種の事業者の掘り起こしを行いたい、とありますが、具体的にどのような職種で参加率が低いのですか。</p> <p>事業者の方は講習会に出かけることに不安があるのではないかと思います。ONLINEでの講習会だったのですか。</p>	<p>参加率の低い職種としては、小売販売業におけるコンビニエンスストア等が挙げられます。</p> <p>また、講習会については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面型により実施しました。</p>
<p>【13ページ：地産・地消について】</p> <p>地産・地消の「たべちゃろキャンペーン」などについて、ネットに不慣れな高齢者にも広く知ってもらう方法はありませんか。</p>	<p>たべちゃろキャンペーンについては、ネットやSNSでの情報発信だけでなく、新聞折込みやポスティングによる「チラシの戸別配布」を実施するなど、ネットに不慣れな高齢者にも配慮した周知も行っています。</p>

【議題（３）資料２：令和３年度６月補正予算新規事業への御意見等】

委員意見等	回答等
<p>岩崎喜美子委員（公募） 【もっと膳力！もっと安心！やまぐち飲食店応援事業について】 テレビで現地調査の様子を見ました。安心・安全のためにも、飲食店の経営を守るためにも、よい企画だと思いました。</p>	<p>県では、感染症が長期化する中、感染防止対策に取り組む飲食店の支援に取り組んできたところですが、引き続き、「やまぐち安心飲食店」の拡大を図り、県民がこれまで以上に安心して飲食店を利用できる環境づくりを進めてまいります。</p>
<p>渡邊朝子委員（山口県立大学看護栄養学部 教授） 【やまぐちの農林水産物需要拡大応援事業について】 やまぐちの農林水産物需要拡大応援事業に、畜産が含まれていないのはなぜですか。</p>	<p>やまぐちの農林水産物需要拡大応援事業については、「農林水産物」を対象とするものですが、この「農」の中に「畜（畜産）」も含まれています。事業（もっとみんなでたべちゃろ！キャンペーン）の中で、県産農林水産物の割引販売を行っていますが、「地鶏料理」「県産牛肉料理」についても割引の対象としています。</p>

【議題（４）資料３：山口県食の安心・安全推進基本計画（第２次改定版）の改定に向けた検討への御意見等】

委員意見等	回答等
<p>渡邊朝子委員（山口県立大学看護栄養学部 教授） 【全体意見】 食のグローバル化や食中毒の広域化など、しっかり対応して頂きたいと思います。よろしくをお願いします。</p>	<p>今後とも、委員の皆様の御意見を十分お聞きしながら、計画の改定に取り組んでまいります。</p>

【議題（５）資料４：見直しが必要な指標や目標値の洗出しへの御意見等】

委員意見等	回答等
<p data-bbox="125 317 745 352">渡邊朝子委員（山口県立大学看護栄養学部 教授）</p> <p data-bbox="141 363 629 399">【資料１、６ページ：と畜検査について】</p> <p data-bbox="125 410 1137 486">と畜検査にはジビエの検査が含まれていますか。含まれている場合、どのような内容ですか。また、含まれていない場合、どのような検査をしていますか。</p>	<p data-bbox="1155 368 2150 446">と畜場法において、と畜検査の対象獣畜は牛、馬、豚、めん羊及び山羊と定められており、狩猟により捕獲した野生鳥獣（イノシシ、シカ等）は含まれません。</p> <p data-bbox="1155 458 2150 534">野生鳥獣肉（いわゆるジビエ）の異常の有無は、別添記録表の使用等により、狩猟者や食肉処理業者自身において確認しています。</p> <p data-bbox="1155 545 2150 624">また、県では、狩猟者等に対して異常の確認方法や衛生的な取扱いについて、講習会や監視等を通じて指導を行っています。</p> <p data-bbox="1171 671 1711 707">【別添参考】と畜解体時の確認記録表（日報）</p> <p data-bbox="1328 718 2150 796">（小規模ジビエ処理施設向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理のための手引書（一般社団法人日本ジビエ振興協会）様式３）</p>